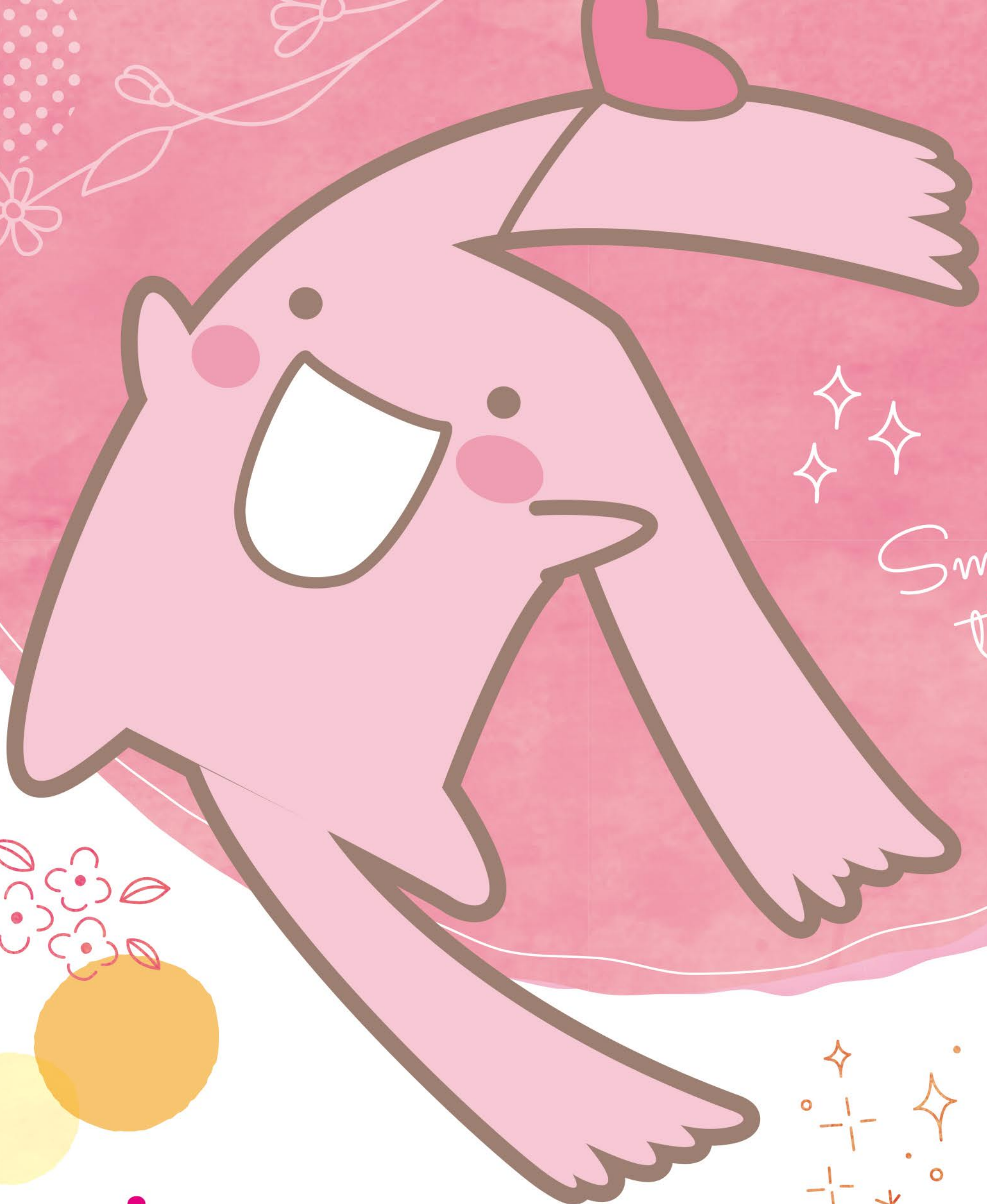
取り組みと
事業の
ご紹介



Smiles change the world.

安心なくらしを育むおてつだい

福祉のまちづくりを
応援します!

社会福祉法人
新発田市社会福祉協議会
SHIBATASHISHAKYO

「社協」のはじまり

市民のみなさんが笑顔であるために

「社協」として親しまれている新発田市社会福祉協議会は、新発田市の地域福祉の推進を図ることを目的とする民間の福祉団体として、1952年（昭和27年）に誕生しました。地域に暮らす皆さんをはじめ、地域組織、民生委員・児童委員など公私関係者の参加・協力のもと、誰もが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指したさまざまな活動を行っています。

1952年（昭和27年）	新発田市社会福祉協議会　創立
1966年（昭和41年）	第1回新発田市社会福祉大会開催
1967年（昭和42年）	新発田市社会福祉協議会法人　認可
1968年（昭和43年）	新発田市社会福祉協議会法人　登記
	福祉しばた（現しばた社協だより）第1号発行
1973年（昭和48年）	市内初のボランティアグループ発足
1975年（昭和50年）	新発田市社会奉仕センター　設置
1978年（昭和53年）	在宅老人給食サービス事業　開始（県内で最初）
1979年（昭和54年）	新発田市老人福祉センター金蘭荘開設
1985年（昭和60年）	新発田市ボランティア連絡協議会結成
	ボラントピア事業指定都市となる
1989年（平成元年）	第1回ボランティアフェスティバル　開催
1991年（平成3年）	デイサービスセンターの運営開始
	社会福祉センター（ボランティアセンター）開館
	ふれあいのまちづくり事業指定都市となる
2003年（平成15年）	豊浦町社会福祉協議会と編入合併
2005年（平成17年）	紫雲寺町社会福祉協議会と編入合併
	加治川村社会福祉協議会と編入合併
2013年（平成25年）	新発田市地域福祉（活動）計画 策定
2017年（平成29年）	第2期新発田市地域福祉（活動）計画策定
2018年（平成30年）	孤立ZEROプロジェクト　始動
2022年（令和4年）	創立70周年記念動画 YouTube　公開
	ボランティア活動PR動画 YouTube　公開

地域の福祉サービスの充実のために

新発田市社会福祉協議会は、市民の皆さまの身近な福祉パートナーとして、共に悩み共に考え、共に働き、地域の福祉充実のため活動しています。

CONTENS

01
福祉のまちづくりの推進 …… 04

02
地域の福祉活動を応援 …… 06

03
ボランティア活動を応援 …… 07

04
災害に備えた活動を応援 …… 08

05
自立した暮らしを応援 …… 09

06
福祉なんでも相談 …… 10

07
“あなただからできる”を応援 …… 11

08
支え合いながら生活応援 …… 12

09
事業所紹介・案内 MAP …… 14

自分の住んでいる地域から、しばた全域へ…

01 福祉のまちづくりの推進

社会福祉協議会費（市民のだれもが安心して暮らせる地域づくりのために）

1.会費募集の目的

新発田市社会福祉協議会は、高齢者・障がい者・子供から大人まで、市民のだれもが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

お寄せいただいた会費は、市民相互の支え合いを基本としたボランティア活動の推進や在宅福祉サービスの充実、地域福祉活動を支援するための拠点構築に活用させていただきます。

2.会費

一世帯 400 円を目安にご協力をお願いしております。

3.募集方法

社会福祉協議会費の募集につきましては、町内会、自治会を通じ市民の皆さまへお願いをしております。

地域福祉（活動）計画

平成29年度から令和6年度までの8年計画とした「第2期新発田市地域福祉（活動）計画」を新発田市と策定し、『すべての市民が住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる福祉の地域づくり』を基本理念に掲げ、地域福祉活動を計画的に推進しています。

地区福祉活動計画

小学校区や中学校区を基本単位として懇談会を開き、地域の魅力や生活課題・これからの地域像・地域や個人でできることなどを話し合い、地区福祉活動計画の策定及び推進に取り組んできました。

各地区組織など地域住民の皆さまと連携して、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを目指しています。

地区の計画冊子

住吉地区　松浦地区　外ヶ輪地区　川東地区　紫雲寺地区　猿橋地区　二葉地区　米倉地区　五十公野地区

佐々木地区　豊浦地区　御免町地区　東豊地区　赤谷地区　菅谷地区　加治川地区　加治地区

地区担当制

市内の小学校区に地域の相談窓口となる地区担当職員を配置し、地域福祉活動計画策定の過程で培った地域との顔の見える関係を維持しながら、地域特有の課題に対して柔軟・迅速に取り組んでいます。

福祉教育

地域住民の一人ひとりが「思いやりを行動へ」と移せるように、福祉教育の推進を目指しています（詳細は二次元コードからでもご覧いただけます）。

▲福祉教育ページ

ふくし出前講座

小中学校などの学校や地域・施設へ訪問し、ボランティア団体や社会福祉協議会の職員が車椅子体験や手話体験、点字体験、誘導歩行体験など、色々な福祉体験を行います。また、当事者の方から視覚障がいや聴覚障がいなど、障がいについての話をしていただきます。

防災に関する出前講座

ふれ愛ワークデイキャンプ Summer倶楽部ふくし

■ふれ愛ワークキャンプ

小中学校を対象に、夏休み期間に福祉体験キャンプを行います。福祉体験を通して、思いやりの心の育成と、友だちづくりを行います。

■Summer倶楽部ふくし

中学生以上の学生を対象とした、夏休み期間の福祉体験講座です。障がい者スポーツ体験やサロン体験、チャリティー募金体験など、福祉体験を行うことで、福祉の理解を深め、福祉に関心のある友だちとのネットワークづくりを強化します。

福祉にタッチ

障がいのある人と出会った時に“はじめの一歩”として「思いやりを行動へ」移せるように、この冊子を作りました。学校や地域など幅広い年齢層の学びのガイドブックとしてご利用ください。障がいの有無にかかわらず、すべての人が共に幸せに暮らすことができる地域（社会）の実現のために取り組むことが「ふ・く・し」です。

地域住民や福祉団体の活動をバックアップ

02 地域の福祉活動を応援

赤い羽根共同募金について

ボランティア活動や地域活動、障がい者の支援活動、被災地支援など、多くの民間の地域福祉を支える活動に、活用させていただきます。

新発田市共同募金委員会では、毎年10月1日～12月31日に募金活動をしています。

地域みまもり隊

新発田市全域で、個人や団体、業者を問わず誰でも参加できる「地域みまもり隊」を募集し、日常生活の中で緩やかに行う見守り活動を推進しています。

地域みまもり隊のミニのぼり旗、腕章

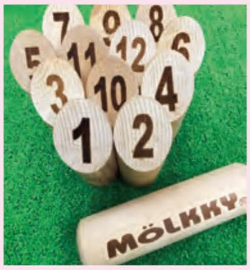
サロン事業

健康の維持・閉じこもり防止・生きがいづくりを目的とした、地域の方なら誰でも立ち寄れる集いの場づくりを支援しています。

サロンで笑いヨガ体験

レクリエーション用具貸出

高齢者から児童まで楽しむことのできる輪投げやかるたなどのレクリエーション用具の貸出を行っています。



モルック

新発田市民生委員児童委員連合会事務局

市内10地区の協議会に所属する民生委員・児童委員や主任児童委員の活動を支援するため、理事会の運営などを通して情報提供や各種の相談対応を行っています。

民生委員・児童委員

厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々です。

主任児童委員

特定の区域を持たず児童福祉に関する事項を専門的に担当しています。小・中学校や児童福祉関係機関などと連携しながら、担当区域をもつ民生委員・児童委員と一体となって児童福祉活動を行っています。

お住まいの地域には、民生委員・児童委員、主任児童委員がおりますので、お気軽にご相談ください。

温かいこころに触れる

03 ボランティア活動を応援

ボランティア活動は、自らすすんで、身近な問題に取り組んでいく活動です。ボランティア活動には、資格や技術が必要なわけではありません。自分の興味や関心で、また自分の時間や生活にあわせて参加できる活動です。

ボランティアセンター事業

「何をしてよいか分からない」「やりたいことが見つからない」「気持ちはあるけど何となく不安」…。

そんなときは、新発田市ボランティアセンターへ足をお運びください。ボランティアセンターは、ボランティアに関する相談の総合窓口です。ボランティア活動したい方の「はじめの一歩」を一緒に考え、応援します。

また、活動してほしい・支えてほしい方の相談も受け付けています。お困りの方がいらっしゃいましたら、まずはご連絡ください。

新発田市ボランティアセンター
新発田市社会福祉センター

ボランティアセンター入口

ボランティアセンター駐車場

ボランティア相談・情報の提供
活動先の紹介やボランティアに関するさまざまな情報を提供しています。

ボランティア活動のコーディネート
ボランティア活動をしたい人とボランティアを求めている人をつなぎます。

ボランティア活動保険の窓口
ボランティア活動中の万一の事故に備え、ボランティア活動保険を取り扱っています。

ボランティア講座の実施
ボランティア活動のきっかけづくりの講座を開催しています。(点訳・拡大写本・音声訳・手話・要約筆記など)

新発田市ボランティア連絡協議会

ボランティア団体・個人ボランティア・市民活動団体・社会福祉団体などで構成されています。

活動内容は、「総会」・「視察研修」を実施する他、毎年開催している「ボランティアフェスティバル」ではボランティア団体・個人ボランティア・福祉施設の方と一緒に企画や運営を行っています。

新発田市ボランティアフェスティバル

年に1回市内で活動するボランティア団体を知ることを目的として、開催しています。誰もが参加でき、楽しみながら学べる機会になっています。

学生ボランティアサークル「倶楽部ふくし」

新発田市社会福祉協議会と協働して、地域のさまざまなボランティア活動に参加する学生ボランティアサークルです。会員登録した学生にボランティア情報などをメールで配信します。

「誰かのため」が「自分のため」に

04 災害に備えた活動を応援

災害時には、日頃から顔と顔が見える関係づくりや有事の際に相互連携することが必要です。地域に暮らす多様な人々を大切にする多様性配慮の視点を踏まえて、災害に強い地域を目指しています。

災害ボランティアセンター

台風等による風水害や地震、津波などの災害が発生した場合、被災地では災害ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮します。

いつ起こるか予測のできない災害に備え、日頃から災害に備えたネットワークの構築を目指しています。

防災に関する出前講座を受け付けています!

○災害ボランティア講座（初級・中級・上級）
災害ボランティアとして必要な知識と技術を参加者が共に学び、地域における平常時の活動においても、防災・減災の意識を持って積極的に取り組む人材の養成を行っています。

○地域連携防災訓練
地域で広く防災意識の高揚を図ることを目的として、地域のマニュアルに基づき災害発生時に即応できる体制の確立や避難訓練、防災体験などの企画や運営を行います。

○災害ボランティアセンターマニュアル（立ち上げ編・運営編）
災害発生直後の社会福祉協議会の初動体制や災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営の手順に加えて、災害ボランティア活動の基本となる必要な知識・活動の原則や方法、守るべき事項などをマニュアル化しています。

全社協 被災地支援・災害ボランティア情報▶https://www.saigaivc.com/

日本赤十字社新潟県支部新発田市地区事務局

ハートラちゃん

日本赤十字社新潟県支部と共に、新発田市地区での赤十字活動を推進しています。

■活動資金（協力金）の募集 ■生命と健康を守る講習会の開催支援 ■災害支援
■赤十字奉仕団の活動支援 ■青少年赤十字　など

赤十字活動資金(協力金)

日本赤十字社の実施する救命手当などの講習やボランティア支援活動、国内の災害救護活動、国際救護活動などにいただいた赤十字活動資金を活用させていただきます。

救急法講習（安全奉仕団）

交通安全帽の交付

活動資金の流れ

市民の皆さまからの活動資金 ▶ 自治会・町内会 ▶ 各市町村・赤十字窓口 ▶ 日本赤十字社新潟県支部 ▶ 新発田市地区

あなたらしく、あなたの人生をサポート

05 自立した暮らしを応援

認知症や障がいなどで判断力・理解力に不安のある方をサポートする主な手段として、『日常生活自立支援事業』と『成年後見制度』があります。不安を安心にかえるためのお手伝いをします。まずはお気軽にご相談ください。

日常生活自立支援事業

生活に不安をお持ちの高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるお手伝いをします。

1 福祉サービスの利用のお手伝い（福祉サービス利用援助）

2 日常的なお金の出し入れのお手伝い（日常的金銭管理サービス）

3 大切な書類や印鑑などのお預かり（書類等預かりサービス）

法人後見事業

■法人として成年後見人等の受任

※成年後見制度とは… 認知症や知的・精神障がいなどにより、物事を判断する能力が十分でない方が日常生活の範囲を超えた契約や財産管理などをする時に、不利益が生じないよう、後見人（または保佐人、補助人）が本人に代わって意思決定を支援する制度です。

成年後見センター

■成年後見制度に関する相談支援

■関係機関等との連携及び調整

■成年後見制度の普及・啓発

新発田市成年後見センター（新発田市社会福祉協議会内）▶TEL 0254−20−8988（直通）

資金貸付事業

※貸付制度となりますので、一定の条件があり、自立・償還が見込めないと判断される場合は貸付できない場合があります。

■生活福祉資金

低所得者や障がい者などの世帯に対して、資金の貸付など必要な相談支援を行うことにより、経済的自立を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

貸付金の種類は以下の４種類となります。相談内容に応じた資金の貸付を行っています。

【総合支援資金／福祉資金／教育支援資金／不動産担保型生活資金】

■小口資金

新発田市に居住する低所得世帯を対象として緊急のつなぎ資金の貸付を行い、その世帯の援護を図ることを目的としています（貸付金限度は一世帯３万円まで）。

いつでも、なんでも福祉のことならお任せ

06 福祉なんでも相談

新発田市社会福祉協議会の行う地域支援事業や援護事業を活用するとともに、関係機関・団体、行政等と連携しながら、生活課題の支援に向けての体制を整備するため、多様なご相談に対応しています。

総合相談（「暮らし」と「住まい」のふくし相談会）

総合的な福祉相談や地域支援の窓口として、福祉に関するさまざまな相談を電話または来所にてお受けしています。相談内容に応じて、福祉サービスや関係機関等の情報提供など、さまざまな助言を行っています。「どこに相談していいかわからない」「誰かに相談したい」「福祉サービスの情報が知りたい」など、お気軽にご相談ください。

また、年2回多職種の専門家に協力いただき、相談会を開催しています。

セカンドライフ応援

退職後や子育てが一段落した後の人生「セカンドライフ」についてこれからどのように過ごしたら良いか分からない、やりたいことがあるが相談先が分からないといったご相談を受け付けています。セカンドライフ応援講座や市民向けセミナーも開催しています。

新発田市社会福祉協議会窓口で受付しているご寄付

市民の皆さまから多くのご寄付をいただいています。ご寄付いただいたものは、地域福祉の推進を目的とした事業に活用させていただきます。

寄付金

寄付金は、社協が地域福祉を推進するうえで大きな支えとなっています。なお、社協へのご寄付は、税法上、優遇措置が図られます。

「寄付申込書」に必要事項をご記入のうえ、窓口へご来所ください。

※その他、ご不明な点はご連絡ください。

換金して寄付金になる

各専門団体や業者へ売却し寄付金として地域福祉事業に役立てさせていただきます。

❶羽毛製品（羽毛プロジェクト）
ダウン率50％以上の羽毛製品

❷不要入れ歯
入れ歯や冠などに含まれる貴金属

❸書き損じハガキ、未使用ハガキ・切手
郵便局で切手に交換し、使用させていただきます。

❹アルミ缶

収集ボランティアという使用済切手を収集する寄付の形もあります。個人や団体で手軽にできるボランティアです。

物品として寄付を受け付けるもの

❶タオル
❷綿製の布
❸雑巾
❹紙おむつ
❺リハビリパンツ

※タオルは洗濯済であれば使用後でもOKです。

“つながること”への第一歩

07 “あなただからできる”を応援

ニート・ひきこもりなど生きづらさを抱える若者世代を対象として、社会参加のきっかけづくりを関係機関やボランティア団体と協力して取り組んでいます。

就労準備支援事業 ～生活困窮者自立支援事業～

「社会との関わりに不安がある」「ほかの人とコミュニケーションがうまくとれない」「就労経験が少ない」「仕事をしていない期間が長い」など、すぐに就労することが困難な方を対象に、一定期間のプログラムを作成し、就労のための基礎能力を養いながら準備を行います。

若者自立支援事業

ひきこもり・貧困など生きづらさを抱える若者世代やその家族を対象として、関係機関や団体と協力し、相談支援やさまざまな活動、居場所を通じて社会参加のきっかけづくりに取り組んでいます。

○社会参加の場の提供

就労体験や勉強会、セミナー、ボランティア活動など、社会参加の場づくりを行っています。

○関係機関・団体とのネットワークの構築

不登校やひきこもりなど、子どもや若者、その家族を抱える課題に対して、教育・福祉・医療などさまざまな分野の関係機関や団体が連携・協働してサポートできるように、ネットワークづくりを行っています。

○居場所

■若者＋交流会（Meet＋Meと）など

生きづらさを抱え、社会とのつながりにくさや不安を感じている若者を対象とした交流会を定期的に開催しています。気軽に集まり、日頃の思いを話し合ったり情報交換をしたり、イベントに参加できる場です。

■親のサロン

生きづらさを抱える若者をもつ親や家族のための交流会を定期的に開催しています。悩みや不安を話し合い、経験や関わり方などを共有できる場です。

あなたらしく、あなたの人生をサポート

08 支え合いながら生活応援

さまざまな生活課題に対し、既存事業と新しい事業を包括的に取り入れることで、支援を必要とする方の課題を解消し、誰もが最後まで自分らしく住み慣れた地域で暮らし続けるための取り組みを推進します。

高齢者あんしんパック事業

住民参加型
在宅福祉サービス

生活応援団事業

住民同士による助け合い活動です。提供会員が高齢者や障がいがある方など（利用会員）に対し、生活を送る中でのちょっとした困りごとを有償でお手伝いします。

お弁当とみまもりをセットで

在宅高齢者給食サービス事業

65歳以上の一人暮らし高齢者や身体に障がいのある方に、安心して在宅生活を送るための一助として、栄養バランスのとれたお弁当を調理・配達し、同時に安否確認を行います。

必要なあんしんを必要な時に

まずは電話機から

STOP 特殊詐欺！あんしん貸出事業

現在使用している固定電話に「特殊詐欺を抑制する装置」をつなぐことで詐欺対策ができます。利用料は月額200円です。

事前に備えてあんしん

緊急時お出かけあんしん準備事業

リストはHPよりダウンロードできます！

予期しない急な入院や災害時、あわてることがないように、事前の準備はできていますか？「もしも」に備えることは自分や、家族を守ることにつながります。

※準備リスト（入院編・避難編）は無料配布しています

あんしんサポート …ご希望の方にはあんしんコール（月1回の安否確認）とあんしん訪問（緊急時お出かけあんしん準備事業のリストに沿って年1回の物品確認）を行っています。

あんしんハンドブック

相談窓口一覧が掲載されているので、困った時に適切な機関に相談することができます。また、自分のことを書き記しておけるハンドブックでもあるので、「家族に想いを伝えられるように」、お元気なうちから将来のことを考えるきっかけにもなります。

配布場所：新発田市社会福祉協議会窓口、新発田市高齢福祉課、
市内各地域包括支援センター

私の人生ノート

あんしんハンドブックのエンディングノート機能を充実させ、自分自身の「歩み」「想い」を記し、大切な誰かと「語り合う」きっかけにぜひご利用ください。

福祉有償運送～リフトカー運行事業～

視覚障がいや日常的に車いすをご利用の方が通院される場合に、リフト付きの福祉車両を使って行われる有償の福祉移送サービスです。

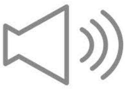
移動支援事業

ガイドヘルパーが目の不自由な方を誘導歩行して、社会生活を送るために必要な外出や社会参加などをお手伝いします。

意思疎通支援事業

○声の広報発行事業

文字による情報入手が困難な視覚障がい者のために、市の広報などを音声訳したCDを送付しています。



○意志疎通支援者派遣事業（手話・要約筆記）

聴覚障がい者が社会生活を営む上で、意思疎通を円滑にするための伝達手段確保のために意思疎通支援者（手話・要約筆記）を派遣します。

○手話奉仕員養成事業

養成カリキュラムに基づき、手話奉仕員の養成を行っています。

あんしんできる暮らしをしばたで

09 事業所紹介・案内MAP

高齢者から、赤ちゃんまでを対象として、市内各所で社協の事業を行っています。各事業所についてのご相談は下記それぞれ事業所の連絡先までお願いします。

❶新発田市社会福祉協議会

誰もが安心して新発田市で生活することができるために、さまざまな業務を行っています。

○新発田市本町4-16-83「新発田市ボランティアセンター内」 TEL 0254-23-1000

❷地域包括支援センター

高齢者の暮らしを地域でサポートするための拠点として、介護だけでなく福祉、健康、医療などの分野から総合的に高齢者とその家族を支えます。

また、高齢者に関する総合相談窓口となっていますので、ご本人はもちろんのこと、家族や地域住民の悩みや相談を寄り添いながら適切な機関と連携して支援します。

○新発田中央地域包括支援センター
新発田市中央町3-13-3「新発田市健康長寿アクティブ交流センター内」 TEL 0254-26-2400
担当地域　外ケ輪小学校区・猿橋小学校区

❸居宅介護支援事業

介護や支援を必要とする方やご家族の相談に応じ、その人の心身の状態にあったケアプランを作成します。

○しばた社協居宅介護支援センター
新発田市中央町3-13-3「新発田市健康長寿アクティブ交流センター内」 TEL 0254-20-7340

❹通所介護(デイサービス)

要介護・要支援高齢者の方々に食事、入浴、機能訓練などを提供し、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上と介護者等の負担軽減を図ります。

4-1	新発田北デイサービスセンター	新発田市中倉10-2	TEL 0254-29-3405
4-2	新発田南デイサービスセンター	新発田市大栄町4-5-12	TEL 0254-26-8581
4-3	加治川デイサービスセンター	新発田市住田501	TEL 0254-33-2280

❺複合型福祉施設　ほのぼの家族

子育ての情報交換や交流の場、育児相談、子育て支援など、子育てのサポートや、障がいのあるお子さまや発達に特性のあるお子さまをサポートする複合型福祉施設です。

○地域子育て支援センター　○子どもデイサービス　○放課後等デイサービス
新発田市住吉町1-7-17「新発田市ふれあい福祉センター内」 TEL 0254-20-8800

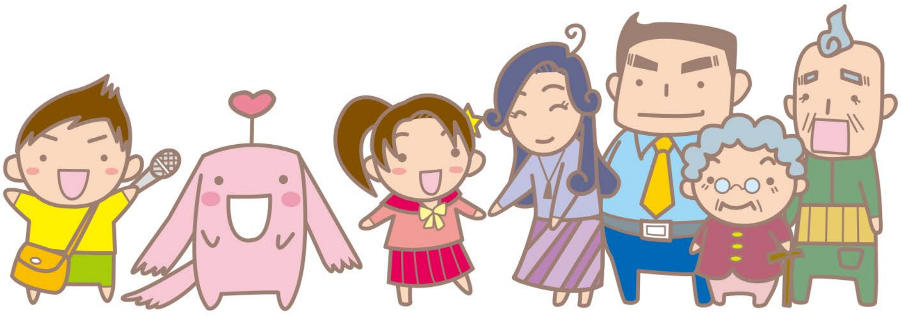
❻老人福祉センター　金蘭荘

高齢者の交流の場としてご利用いただける、個室・大広間完備の福祉施設です。

新発田市大字五十公野4970-2　TEL 0254-24-7223

事業所・施設
案内MAP

さまざまな支援を行っているよ！
まずは相談してみよう！



社会福祉法人

新発田市社会福祉協議会

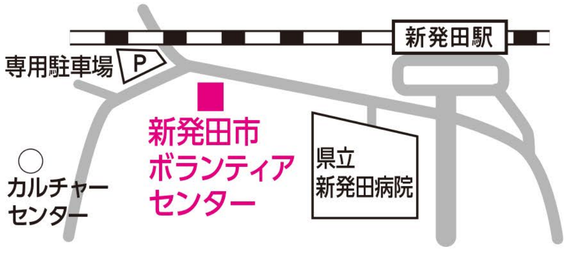
〒957-0054

新潟県新発田市本町4丁目16番83号

新発田市ボランティアセンター内

[TEL]0254-23-1000(代表)　[FAX]0254-26-3300

[ホームページ]https://www.shibata-shakyo.or.jp/



2024.1